

早稲田大学 ダイバーシティ推進室 開設10周年記念シンポジウム

Be Different, Be Together : 違いをチカラに、未来を拓く

早稲田大学は、創立以来、多様な人々が集い、ともに学び合うなかで、新たな知と価値を創出してきました。2017年にダイバーシティ推進宣言および基本方針を公表して以降、本学はその理念に基づき、性別や国籍、障がいの有無、ライフステージ、価値観の違いを越えて、すべての構成員が能力を発揮できる環境の整備に取り組んできました。社会の多様化が一層進むなかで、大学に求められる役割はこれまで以上に広がっています。ダイバーシティ推進室設置から10周年を迎える今、本学のこれまでの取組を振り返るとともに、その根幹となる理念をあらためて確認し、今後のさらなる発展につなげていきます。



早稲田大学ダイバーシティ推進宣言

一人ひとりの多様性と平等を尊重します。

“Respect each other, respect equality and diversity”

早稲田大学は創立以来、内外の多様な人々に広く門戸を開いてきました。また創立150周年を迎える2032年に向けてWaseda Vision 150を策定し、教育・研究の質を飛躍的に向上させ、世界に貢献する大学であり続けることを目指しています。しかし、教育・研究・就労の場におけるダイバーシティ推進という側面からみると、本学には、なお多くの課題があります。新たなVisionを実現するためには、性別、障がい、性的指向・性自認、国籍、エスニシティ、信条、年齢などにかかわらず、本学の構成員の誰もが、尊厳と多様な価値観や生き方を尊重され、各自の個性と能力を十分に発揮できる環境が必要です。そのためにも、早稲田大学はここに、多様な知を結集して創造的な教育・研究活動を行い、社会の発展に資することを大学の使命と考え、ダイバーシティの尊重・推進に努めることを宣言します。

ダイバーシティ推進基本方針

1. 早稲田大学は、ダイバーシティ推進に関する意識を啓発し、本学の意思決定においては、構成員の多様な意見が尊重されるよう努力します。
2. 早稲田大学は、すべての構成員が個性と能力を発揮し、ワークライフバランスを実現できる教育・研究・就労環境を整備します。
3. 早稲田大学は、合理的配慮を必要とする構成員に対する支援体制を整備します。
4. 早稲田大学は、ダイバーシティの視点に立った人的構成と人材育成を推進します。

早稲田大学